

当会議は、とくしまの学校における働き方改革プランで掲げた目標達成のため、現場の先生方から意見を聞きながら、より実効性のある取組を推進することを目的とした会議です。今年度の第1回会議を7月1日に開催しました。



チーム委員の先生方からの意見 ～各所属校の現状・課題・取組～

- 業務量に明らかな偏りがある（2極化している）
- 部活動の負担が大きい（完全下校の設定時刻が遅い）
- 本当に「やらなければいけない仕事」とは何か？
 - ・しんどいことを率先してやるのが美学になっていないか？
 - ・プリント等の「丸付け」仕事は教育効果が高いのか？
- 授業時数や校時表の見直しについて
 - ・4月や9月（繁忙期）に「ゆとり期間」設定を検討・実施
 - ・週休3日制を導入してはどうか
（水曜を児童生徒の休業日にして教員は業務に集中）
 - ・児童生徒放課後の「事務的な業務を行う時間」が必要
（児童生徒の情報共有・評価、校務分掌等）
- 学校・教育DXの成果と課題について
 - 【成果】・Forms等、「クラウドサービス」の利活用
・ペーパーレス化に寄与
 - 【課題】・端末の調整等に係る教員の負担
・「使うと楽になるもの」を精査することが必要
- 管理職の意識が大きく影響している
教員も子供もウェルビーイングを感じることができるポジティブな取組や声かけがある学校は、働き方改革が進みやすい
- 見直しが必要なもの
 - ・定期テスト・部活動・PTA関連行事・職員会議
 - ・学校行事・教員の交通立哨・研修や出張・年間計画



今年度は、アドバイザーとして本県出身の教育研究者 妹尾昌俊さんに御参加いただき、

**「子どものため、忙しいのは仕方がない」を見つめなおす
～働き方を変えるWhy What How～**

と題してご講演いただきました。講演の様子は県内約50校の先生方にオンラインでご視聴いただきました。

そもそも児童生徒の在校時間が、
教職員の勤務時間からはみ出ています。
勤務時間や部活の性質を保護者に
知らせていますか？

授業研究会や行事は
準備が大変。やるだけで労力を
使い切っていませんか？

教育課程（校時表や
授業時数等）の見直し
は校長権限でできます。



講演の様子は「とくしまの学校における働き方改革HP」にて、8月末まで視聴することができます。ぜひ、ご活用ください。

【とくしまの学校における働き方改革HP】

<https://hatarakikata.tokushima-ec.ed.jp/>